

# 6 資料編

---

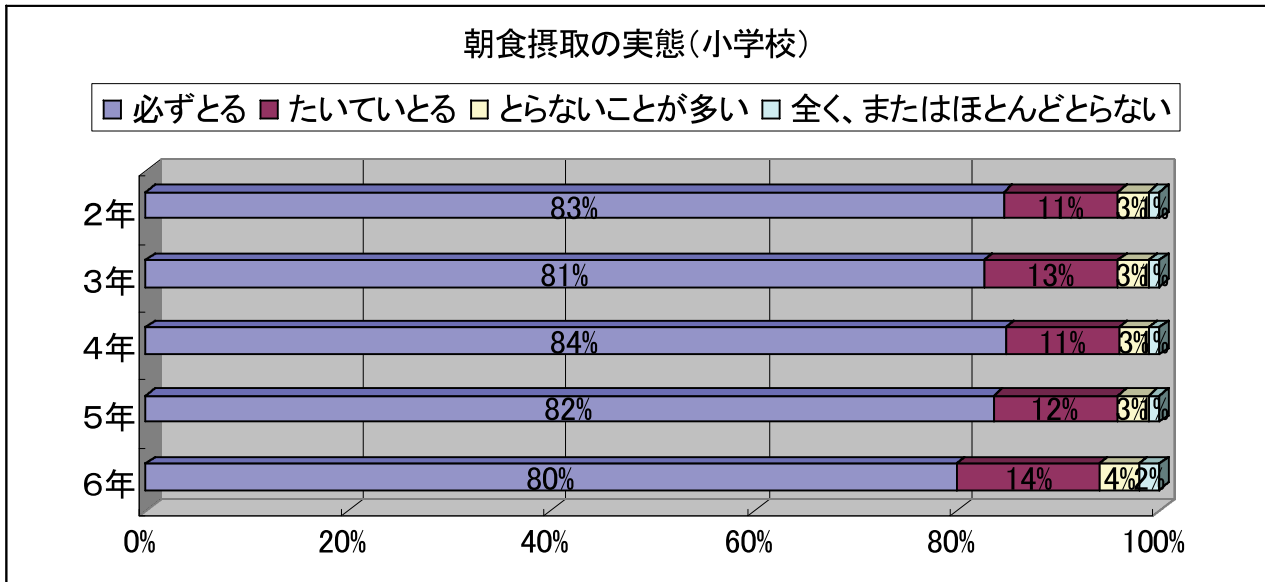
---

# [資料 A : 子どもたちの食生活に関する調査]

## 【子どもたちの食生活と健康】

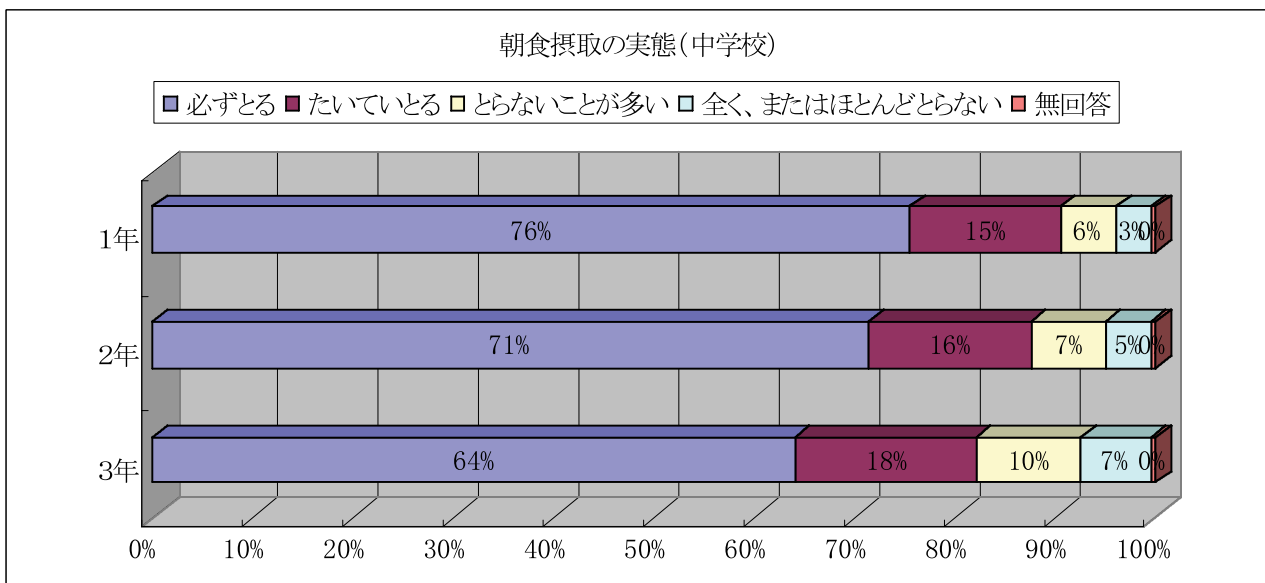
### ＜①朝食の摂取状況＞

小学校では、「必ずとる」「たいていとる」という児童の割合は約94%であり、学年によって大きな差はみられません。これは全国平均をやや上回ります。



平成18年度横浜市学習状況調査(小学校)報告書より

中学校では、学年が上がるにつれて「必ずとる」「たいていとる」という生徒の割合が減少しています。2年生以降は90%を切る割合になります。

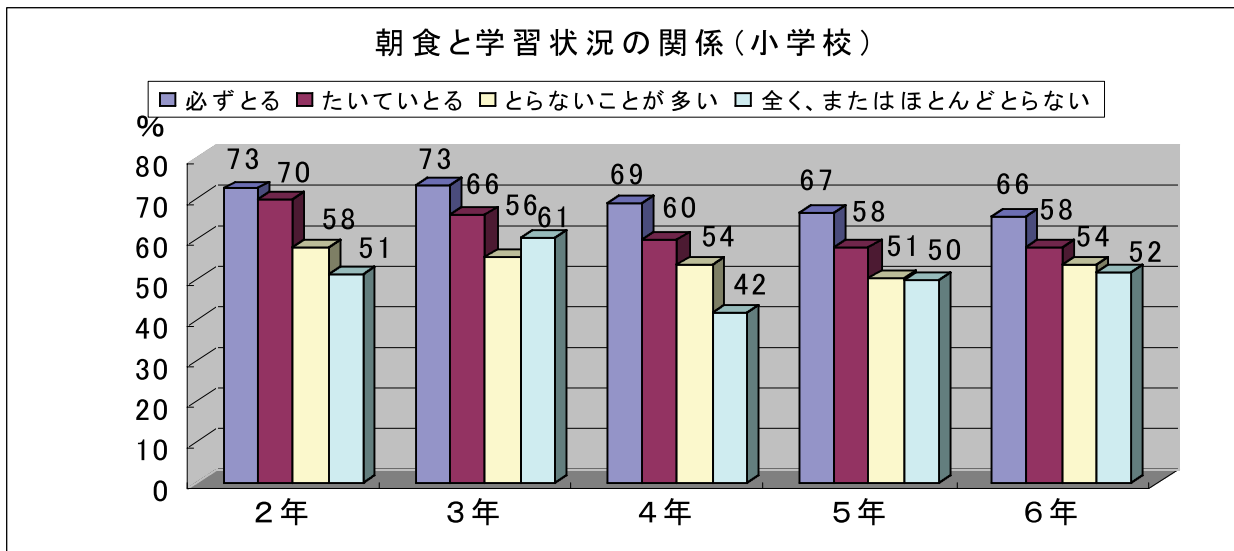


平成18年度横浜市学習状況調査(中学校)報告書より

<②朝食と学習状況の関係>

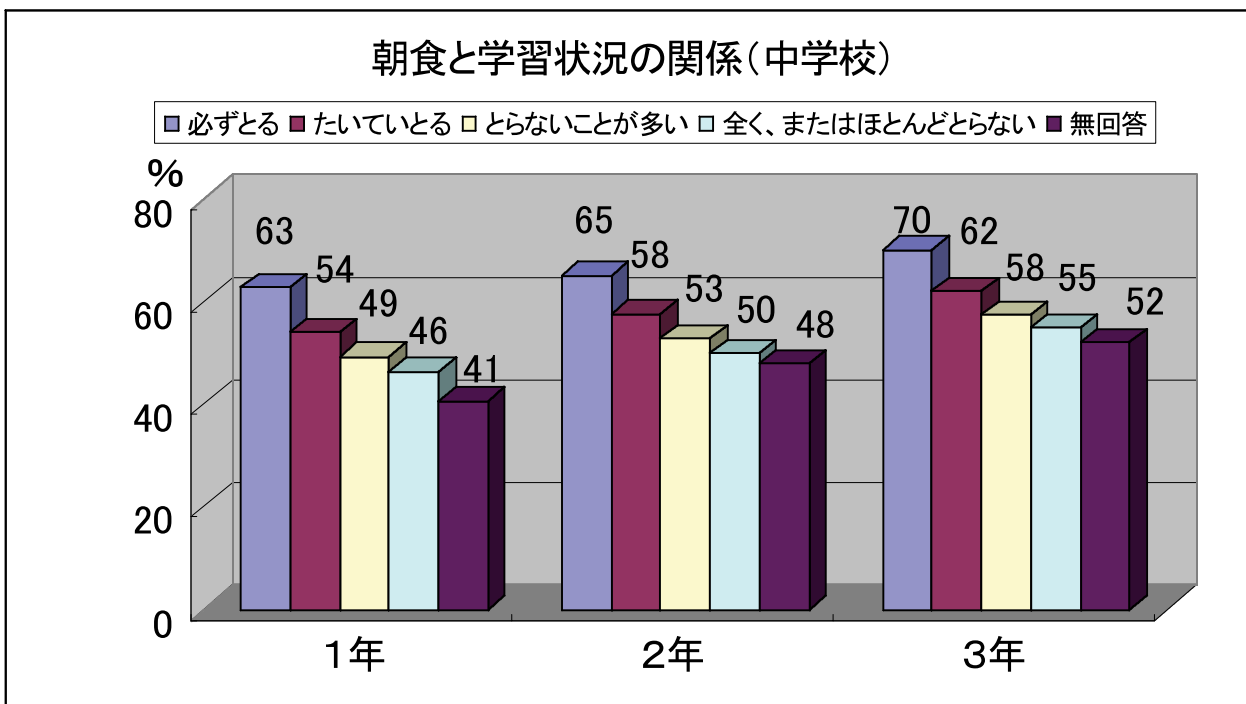
小学校では、どの学年でも「必ずとる」という児童の通過率が一番高くなっています。3年生を除いては、「全く、またはほとんどとらない」という生徒の通過率が一番低くなっています。朝食をとる方が通過率が高い傾向にあります。

※「通過率」とは、各教科の観点ごとの正答率の平均を示します。



平成18年度横浜市学習状況調査(小学校)報告書より

中学校では、どの学年でも「必ずとる」という生徒の通過率が一番高く、「全く、またはほとんどとらない」という生徒の通過率が一番低くなっています。中学校でも、朝食をとる方が通過率が高い傾向にあります。

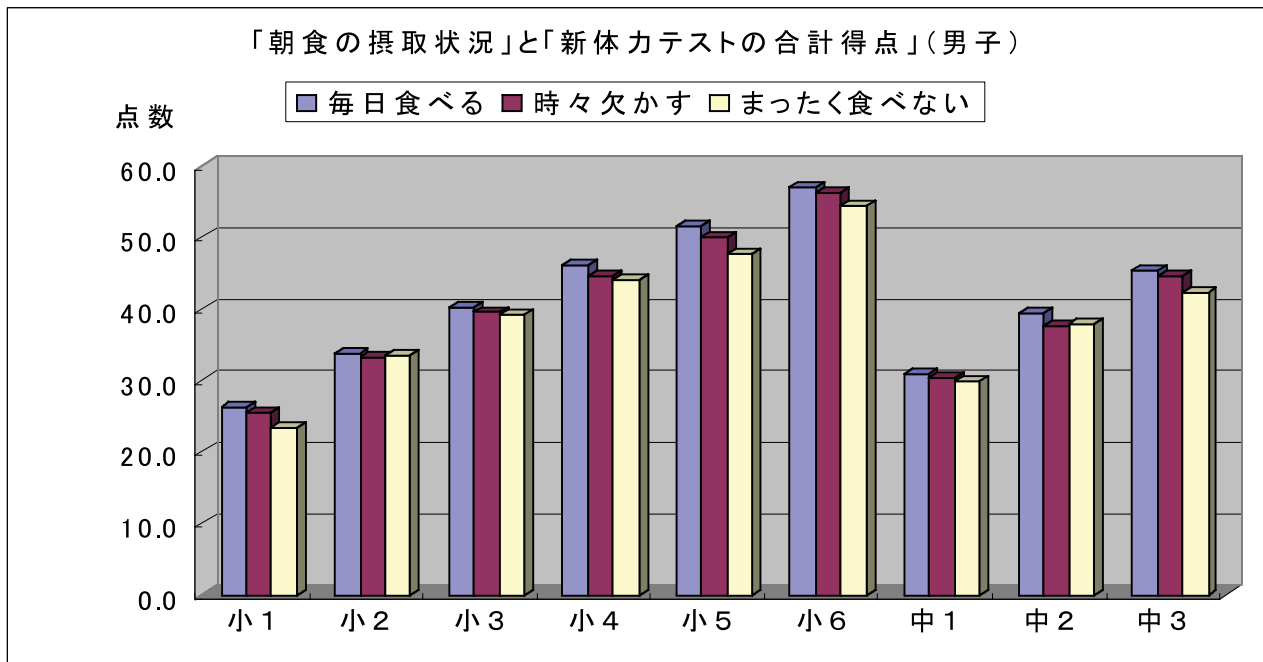


平成18年度横浜市学習状況調査(中学校)報告書より

＜③朝食と体力の関係＞

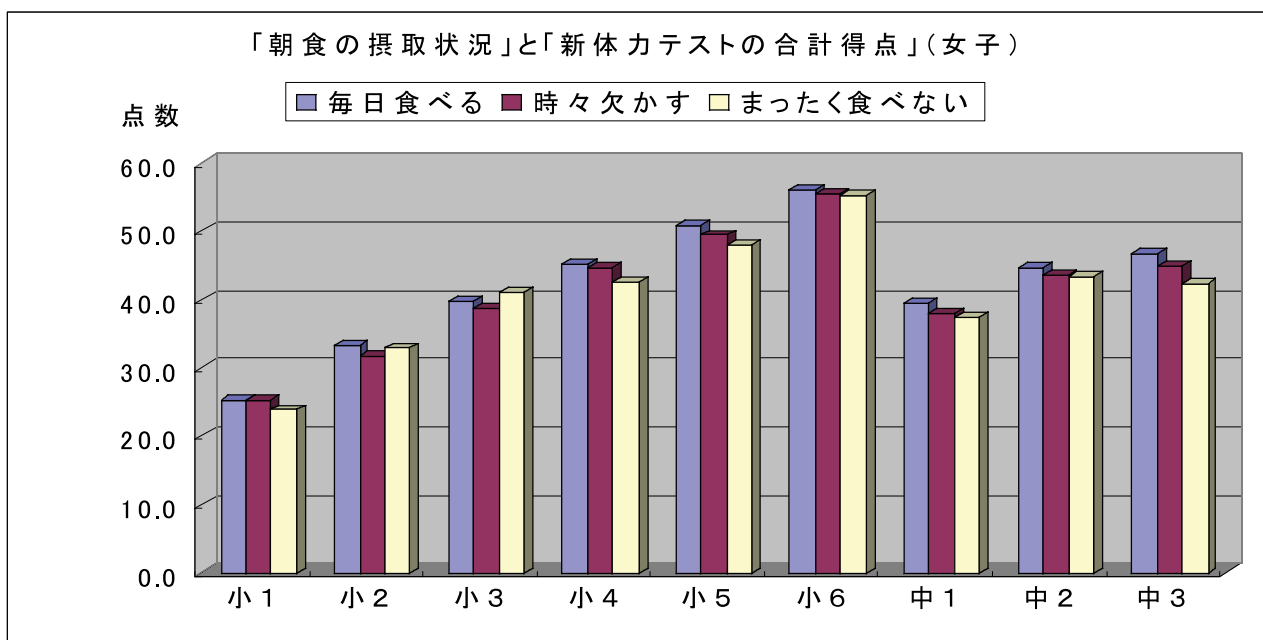
新体力テストは、握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・20mシャトルラン・50m走・立ち幅跳び・ボール投げの8種目で実施されます。

男子では、どの学年でも「毎日食べる」児童生徒が「時々欠かす」「まったく食べない」児童生徒を上回っています。また、ほとんどの学年で「まったく食べない」児童生徒が一番低い得点になっています。



平成18年度横浜市小・中学校児童生徒体力・運動能力調査より

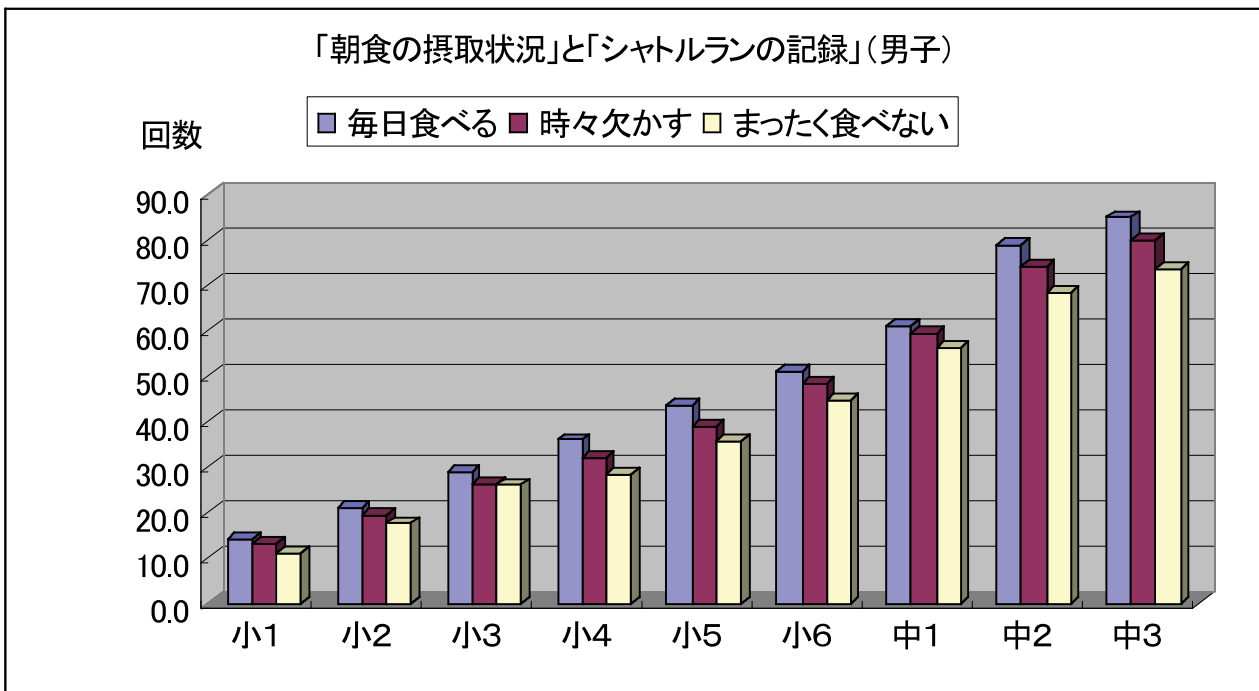
女子では、小2・小3以外の学年で「毎日食べる」児童生徒が「時々欠かす」「まったく食べない」児童生徒を上回っています。男子ほど顕著な傾向は見られません。



平成18年度横浜市小・中学校児童生徒体力・運動能力調査より

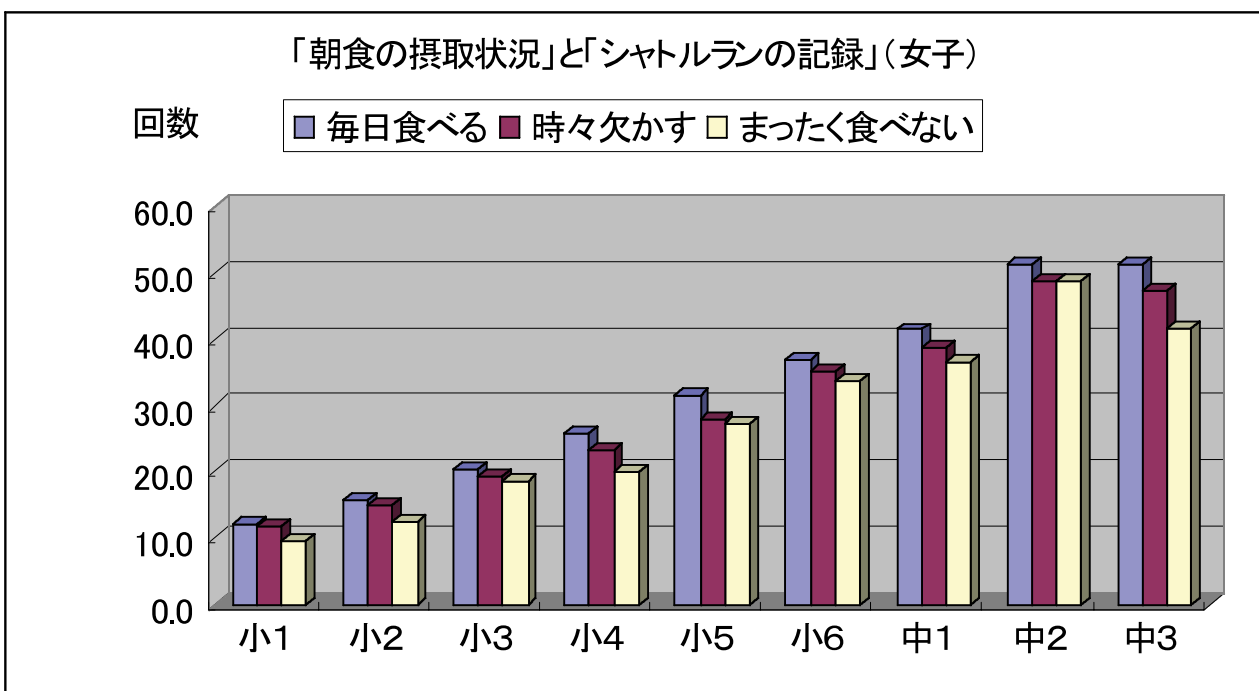
8種目ある新体カテストの中でも、最も「朝食の摂取状況」と関係が深いのが「シャトルラン」です。「シャトルラン」は、体力要素の中でも主に「持久性」に関わります。

男子では、どの学年でも「毎日食べる」「時々欠かす」「まったく食べない」の順で記録がよくなっています。



平成18年度横浜市小・中学校児童生徒体力・運動能力調査より

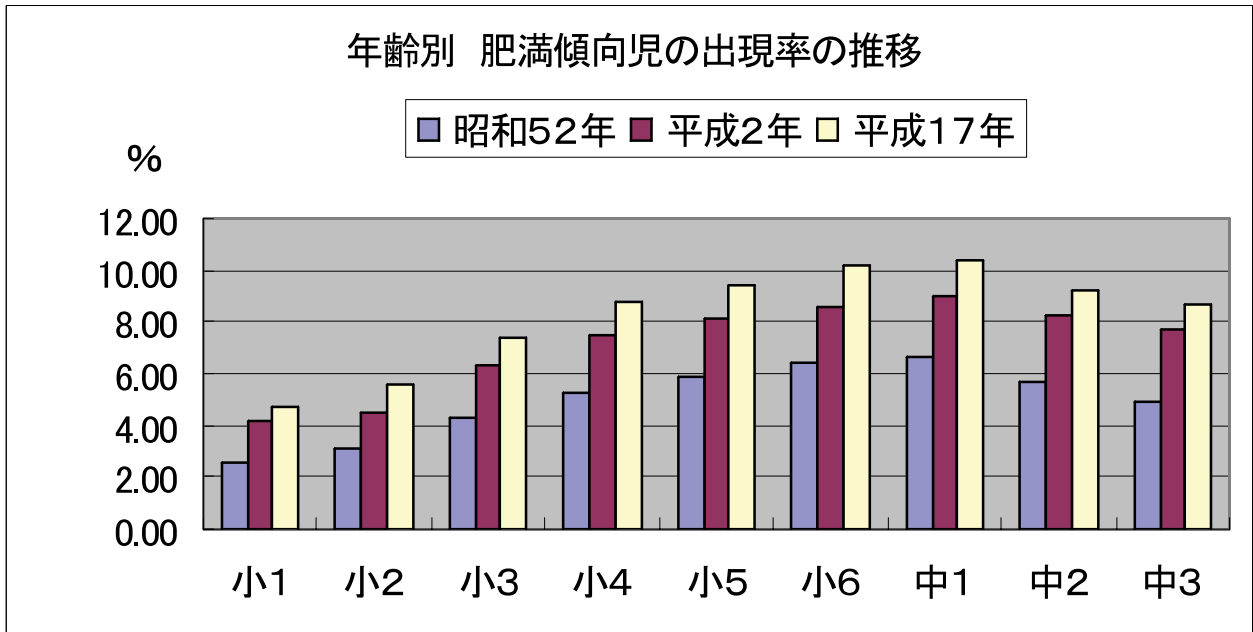
女子でも男子と同じ傾向が見られます。中3になると、記録が落ちているのが女子の特徴です。



平成18年度横浜市小・中学校児童生徒体力・運動能力調査より

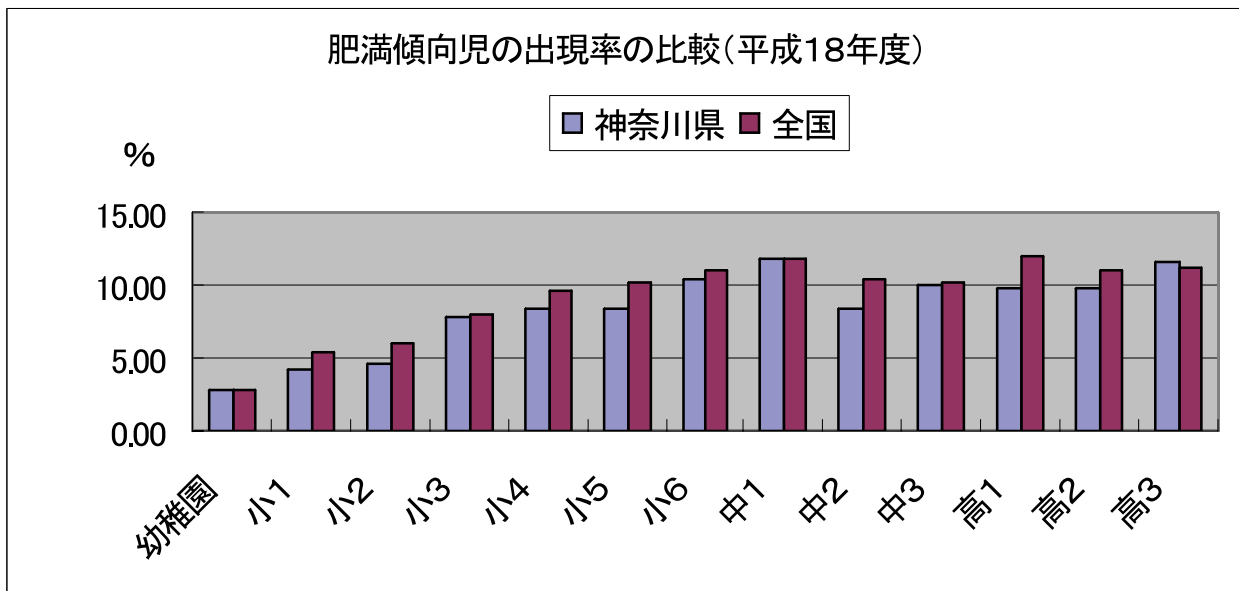
<④肥満傾向児の割合>

全国的に見て、児童生徒の中に占める肥満傾向児の割合が高くなってきています。特に小6、中1では10%を超える出現率になっています。



平成18年度学校保健統計調査（文部科学省）より

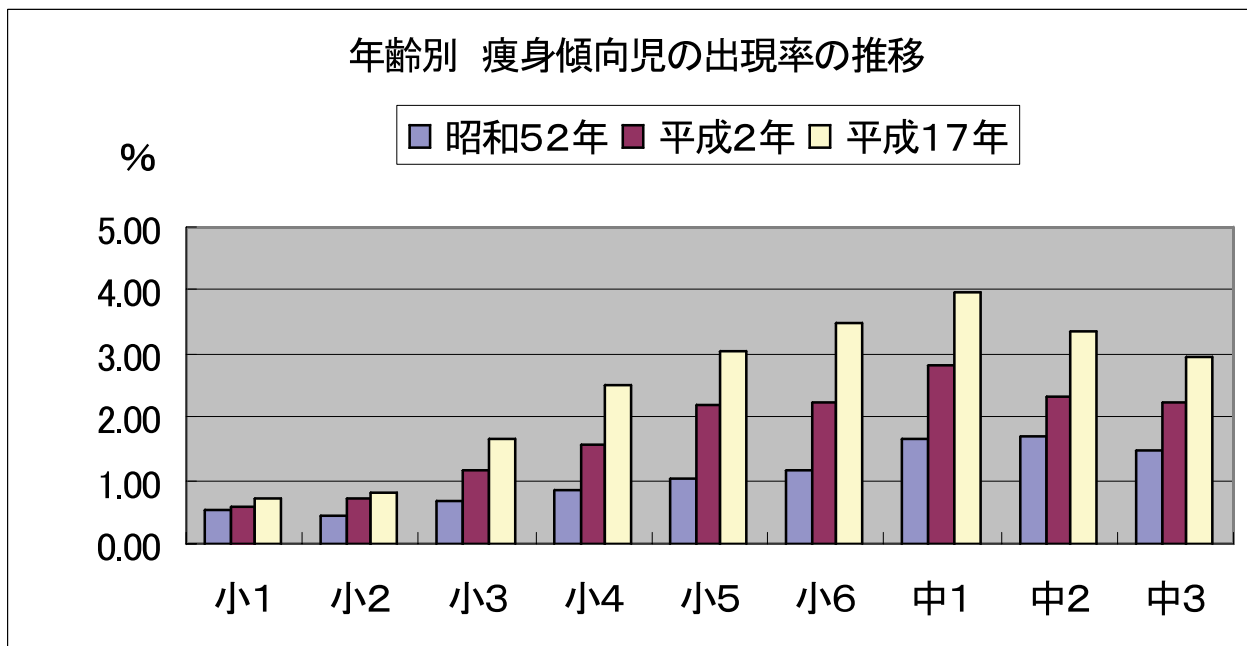
平成18年度については、神奈川県と全国の比較ができますが、その結果はほぼ同じような傾向を示しています。



平成18年度学校保健統計調査（文部科学省）より

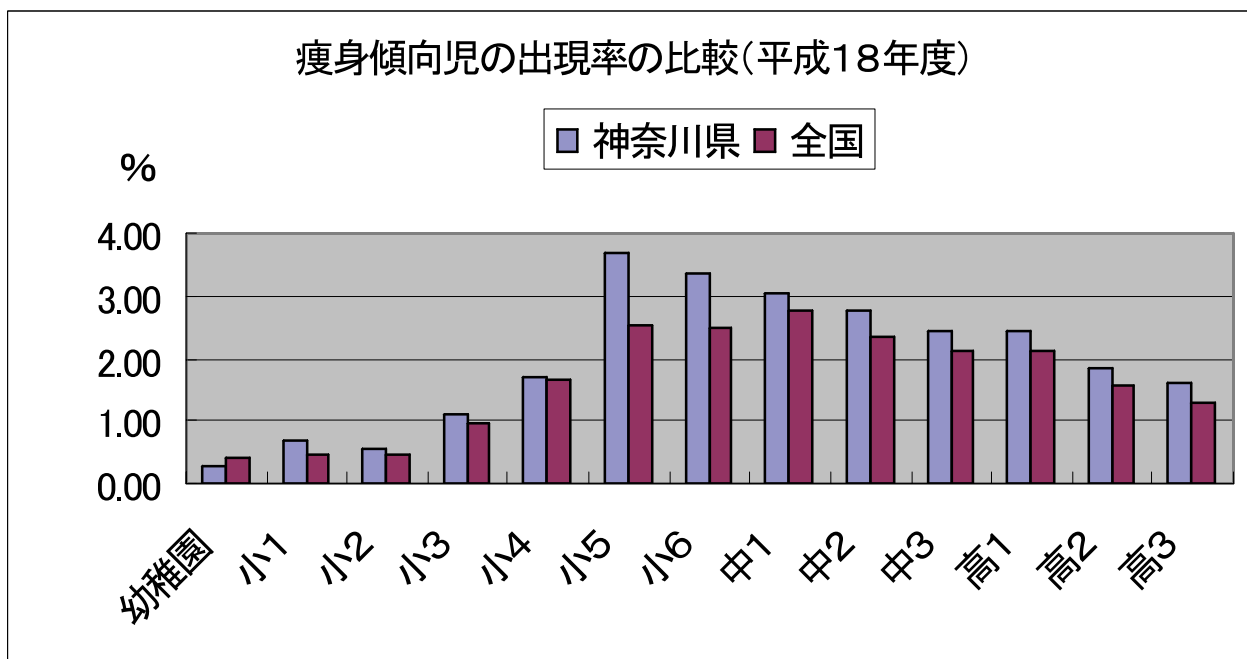
<⑤ 痩身傾向児の割合>

全国的に見て、児童生徒の中に占める痩身傾向児の割合が高くなってきています。特に小5、小6では昭和52年の3倍以上の出現率になっています。



平成18年度学校保健統計調査（文部科学省）より

肥満傾向児の割合と異なり、痩身傾向児の割合は全国と比べて幼稚園を除く全ての学年で高くなっています。特に、全国と比べて小5、小6の割合の高さが際立っています。

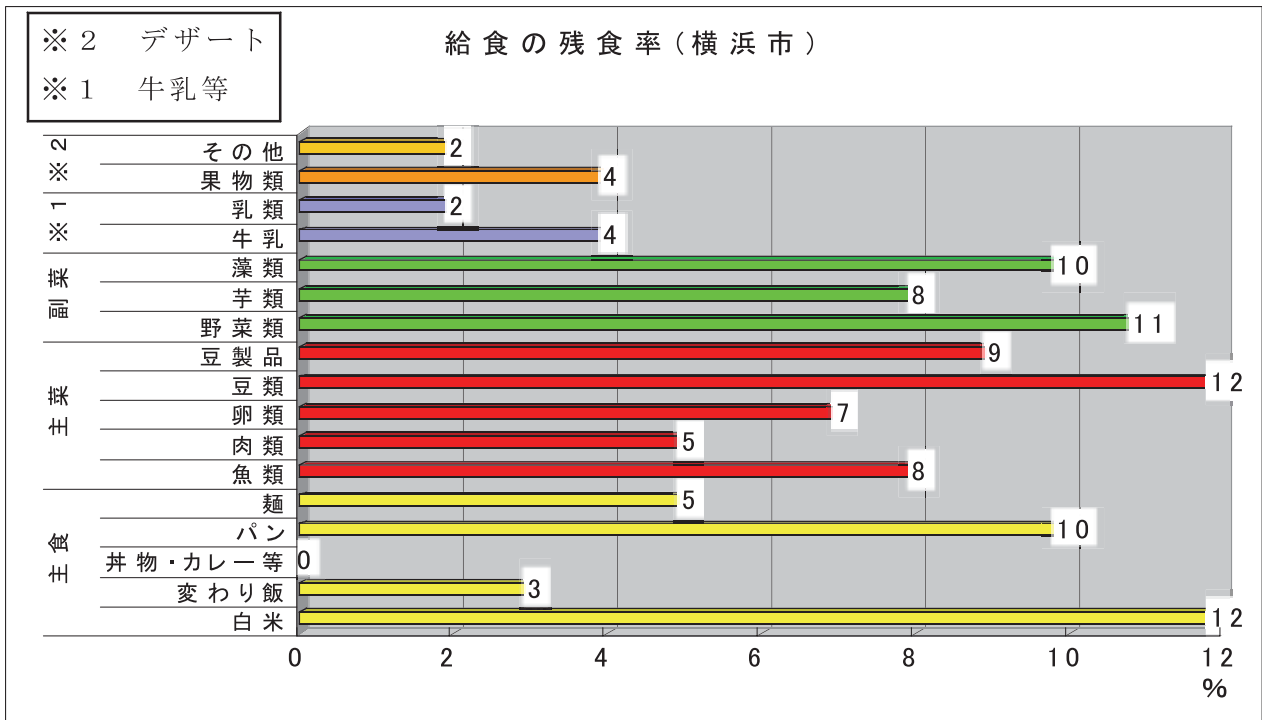


平成18年度学校保健統計調査（文部科学省）より

## 【小学校給食の実態】

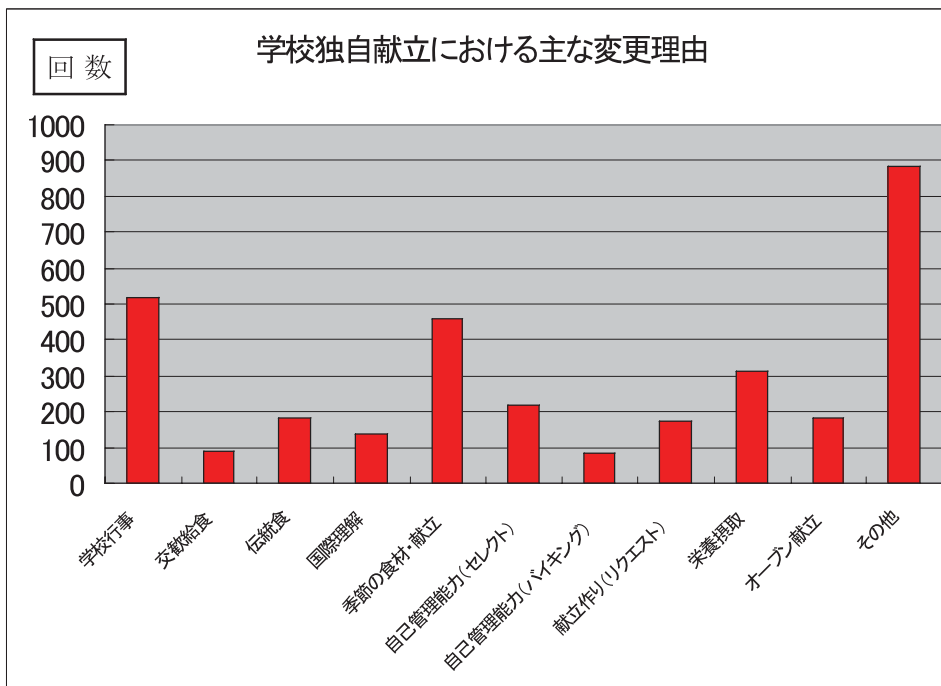
### ＜⑥給食の残食率＞

給食の残食率を見ると、主食では「白米」「パン」、主菜では「豆類」、副菜では、「野菜」「藻類」が高くなっています。



神奈川県学校給食栄養報告書（H18）より

### ＜⑦学校独自献立の変更理由＞



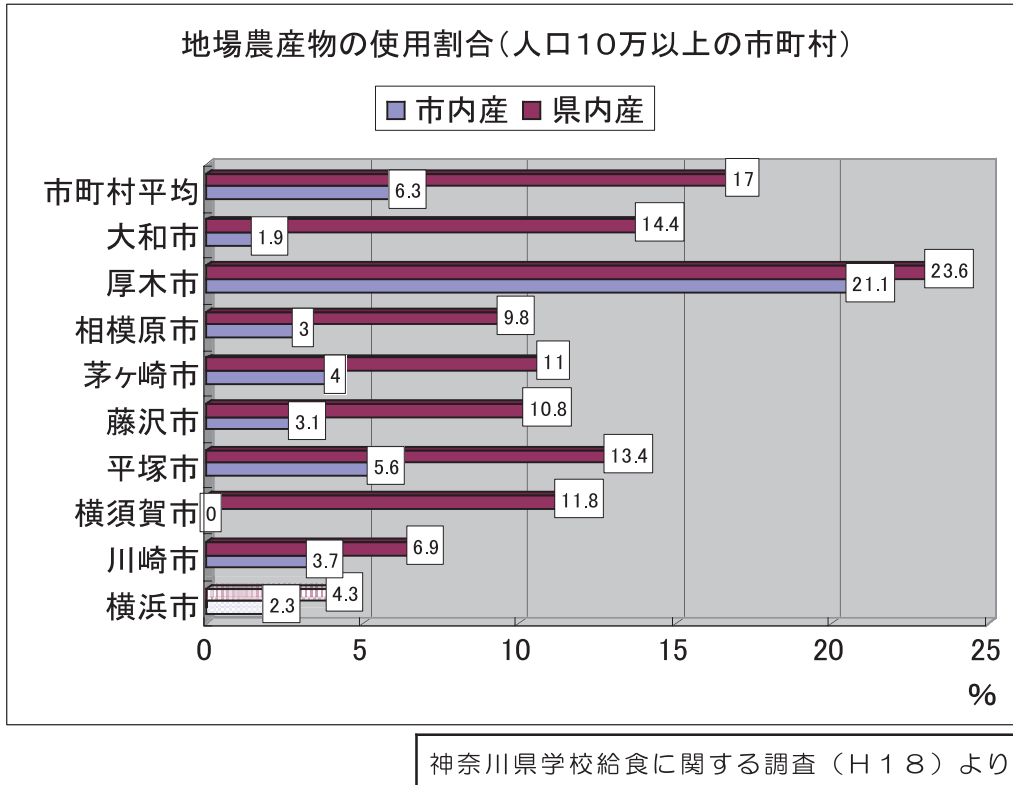
横浜市学校独自献立実施届け（H18）より

市立小学校では、基準献立をもとに給食を実施しています。給食を「生きた教材」として活用するために、学校独自献立を実施している学校があります。

その主な変更理由は左記のようになっています。



<⑧地場農産物の使用割合>

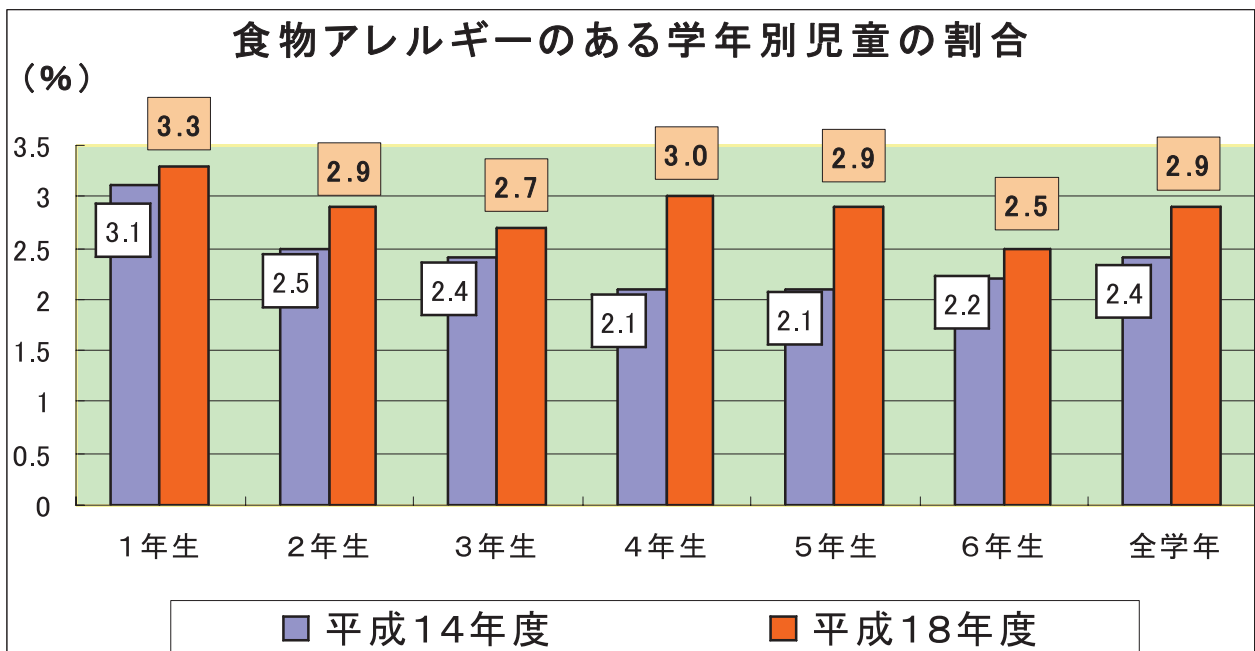


地場農産物の使用割合を県内の人口10万人以上の市町村に絞って比較したのが右記のグラフです。横浜市は、県内産(市内産も含む)は4.3%で最も低く、市内産でも2.3%と、横須賀市、大和市に次ぐ低さになっています。

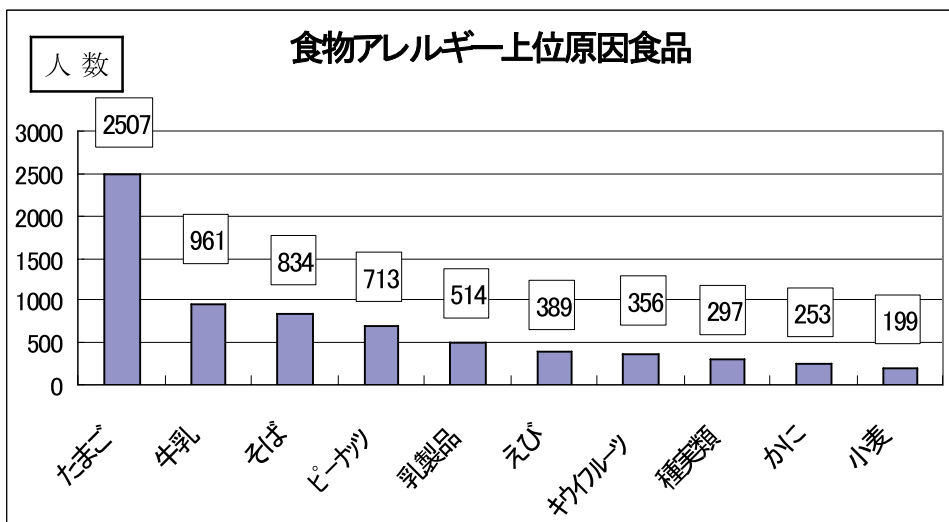
※使用割合＝<県内産の使用食材品目数>÷<全使用食材品目数>

<⑨食物アレルギー対応>

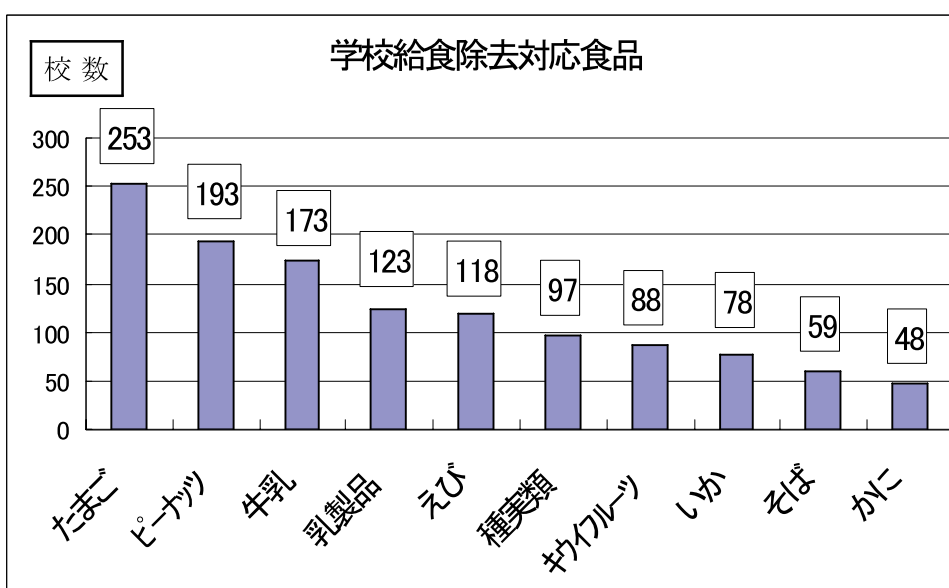
食物アレルギーのある児童の割合は、どの学年でも平成14年度より平成18年度の方が高くなっています。平成14年度には、学年が上がるにつれ減る傾向でありましたが、平成18年では、そのような傾向は薄れています。



「食物アレルギー」に関する実態調査 (H18横浜市) より



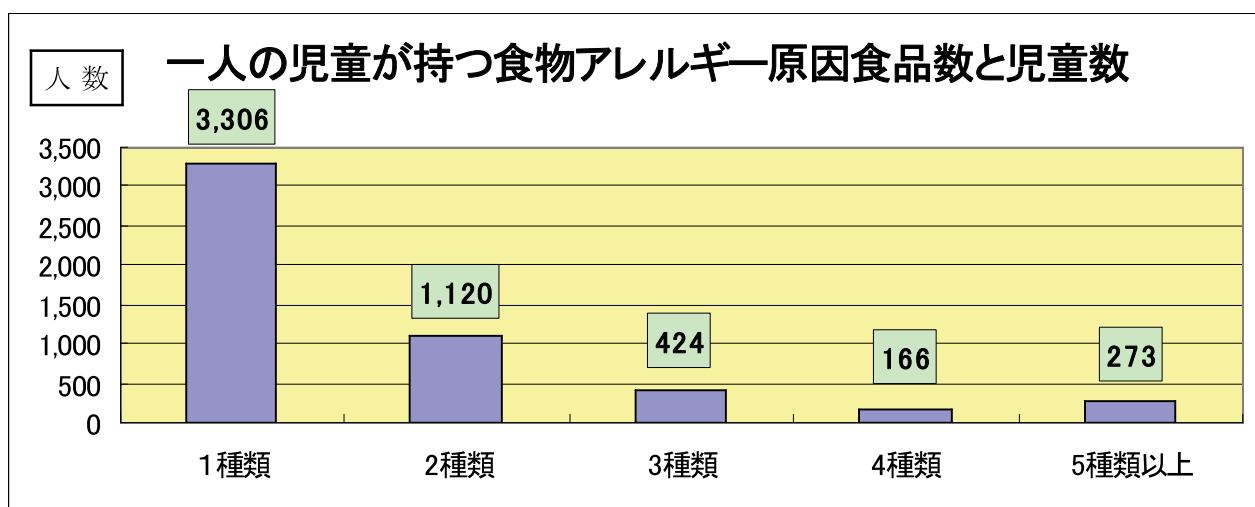
医師から食物アレルギーと言われた原因食品は、「たまご」が1番で、2番の「牛乳」の3倍近くになっています。



市内小学校（348校で調査実施）で学校給食除去対応をしている食品は、食物アレルギーの原因食品とほぼ一致しています。

また、除去がしやすいピーナッツや牛乳などが多くなっています。

一人の児童が持つ食物アレルギー原因食品数は、1種類が圧倒的に多いが、5種類以上ある児童も273名います。



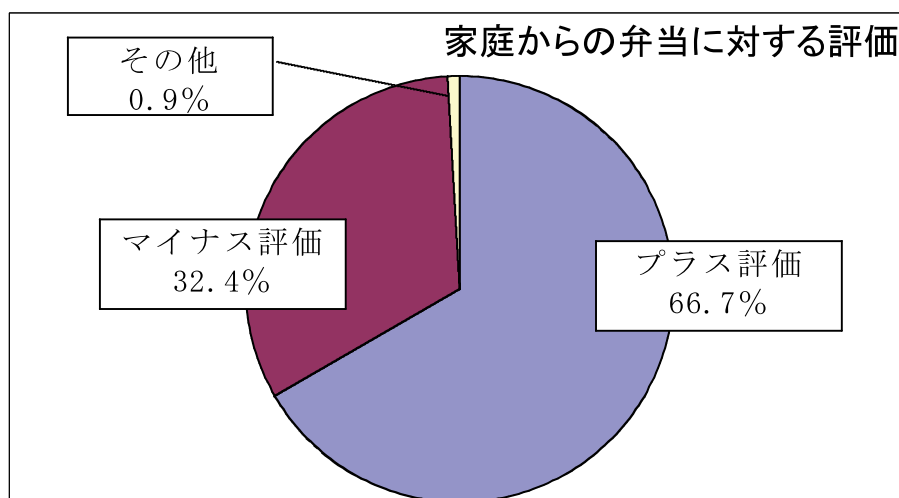
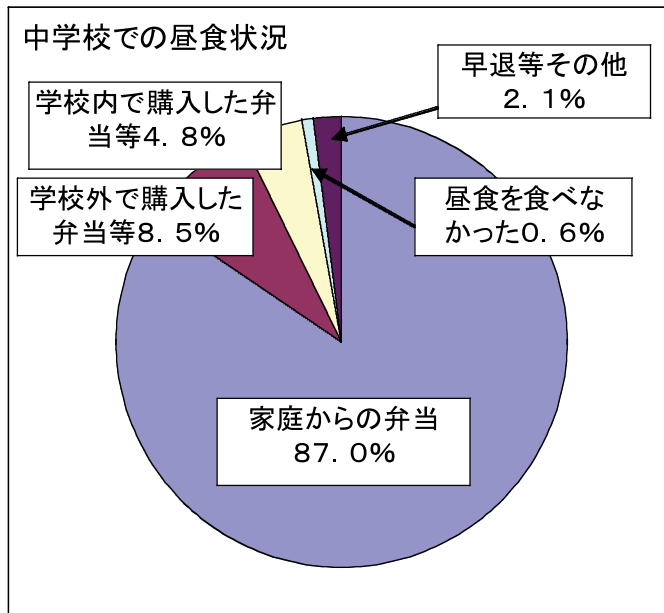
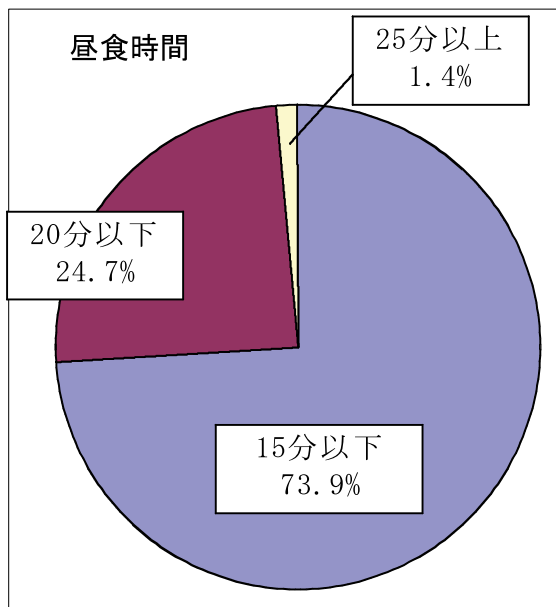
「食物アレルギー」に関する実態調査（H18横浜市）より

## 【中学校昼食の実態】

### ＜⑩昼食時の状況＞

中学校の4分の3近くの学校は、昼食時間が15分以下となっています。

約90%の生徒が家族または自分で作った弁当を持参していて、持ってこれない生徒は、学校内外で購入した弁当等で対応しています。



生徒の家庭弁当に対するプラス評価は7割弱となっており、マイナス評価を大きく上回っています。

中でも、個人に合わせた味や量、栄養バランス等で良い評価を得ています。

| プラス評価項目       | 人数  | 割合    | マイナス評価項目       | 人数  | 割合    |
|---------------|-----|-------|----------------|-----|-------|
| 味がよい          | 760 | 65.4% | 冷めている          | 604 | 52.0% |
| 量が適当である       | 626 | 53.9% | メニューを自分で決められない | 297 | 25.6% |
| メニューが豊富である    | 604 | 52.0% | メニューが少ない       | 182 | 15.7% |
| 栄養バランスがよい     | 560 | 48.2% | 栄養バランスがよくない    | 119 | 10.2% |
| メニューを自分で決められる | 260 | 22.4% | 量が少ない          | 118 | 10.2% |
| 温度が適温である      | 135 | 11.6% | 量が多い           | 72  | 6.2%  |
| その他           | 39  | 3.4%  | 味がよくない         | 39  | 3.4%  |

平成18年度 横浜市立中学校昼食状況調査より

<⑪学校内販売弁当の状況>

| 単価種類(複数回答) | 校数  | 割合     |
|------------|-----|--------|
| 100～200円台  | 13  | 7.6%   |
| 300円台      | 53  | 31.0%  |
| 400円台      | 87  | 50.9%  |
| 500円台      | 18  | 10.5%  |
| 合計         | 171 | 100.0% |

販売弁当の価格帯は300円台～400円台が中心となっています。(100～200円台はおにぎりの価格と思われます)

学校内販売弁当に対する評価は、値段や量、温度について良い評価を得ている一方、栄養バランスの悪さが不満のトップになっています。

学校内販売弁当に対する評価(学校)

| プラス評価項目       | 校数 | 割合    | マイナス評価項目       | 校数 | 割合    |
|---------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 値段が適当である      | 67 | 64.4% | 栄養のバランスがとれていない | 29 | 27.9% |
| 量が適当である       | 56 | 53.8% | メニューが少ない       | 20 | 19.2% |
| 温かく食べられる      | 51 | 49.0% | 冷めている          | 13 | 12.5% |
| 味がよい          | 29 | 27.9% | 値段が高い          | 10 | 9.6%  |
| 栄養のバランスがとれている | 28 | 26.9% | メニューの内容が良くない   | 9  | 8.7%  |
| その他プラス評価      | 52 | 50.0% | その他マイナス評価      | 15 | 14.4% |
| その他           | 7  | 6.7%  |                |    |       |

<⑫中学校での食教育への取り組み状況>

9割以上の学校が保健体育や技術家庭科の中で食教育に取り組んでいます。

| 取組項目(複数回答)        | 校数  | 割合     | 学校数に対する割合 |
|-------------------|-----|--------|-----------|
| 保健体育、技術・家庭科の中で    | 137 | 42.8%  | 93.8%     |
| 保健委員会等特別活動の中で     | 88  | 27.5%  | 60.3%     |
| 食育講座等PTA活動との連携の中で | 37  | 11.6%  | 25.3%     |
| 農業体験等校外学習の中で      | 26  | 8.1%   | 17.8%     |
| 総合学習の中で           | 16  | 5.0%   | 11.0%     |
| 区役所との連携の中で        | 7   | 2.2%   | 4.8%      |
| 近隣小学校との連携の中で      | 5   | 1.6%   | 3.4%      |
| その他               | 4   | 1.2%   | 2.7%      |
| 合計                | 320 | 100.0% | 146校      |

ほとんどの学校(93.4%)のクラス担任は、クラスで生徒と一緒に昼食をとっています。

中学校の先生方から次のような意見をいただきました。

- ◆学校教育と家庭教育との役割分担と連携、保護者への意識付けが必要。
- ◆昼食時間の確保が必要。
- ◆個人個人に応じた食事が大切(食物アレルギー、量、嗜好等)。
- ◆家庭状況が反映される弁当での食教育への取組が難しい。
- ◆教科等での取組の充実と取組時間の確保が必要。

平成18年度 横浜市立中学校昼食状況調査より

## 【高等学校食生活の実態】

※横浜市立高校生の食生活実態調査（横浜学校保健会高校支部研究委員会2007年6月）  
より一部抜粋

※調査対象：横浜市立高校 10校 1～3年生に準ずる各学年1クラスずつ1,050人

| 学年・年次 | 1   | 2   | 3   | 合計   |
|-------|-----|-----|-----|------|
| 人数    | 365 | 362 | 323 | 1050 |

| 性別 | 男   | 女   | 無回答 |
|----|-----|-----|-----|
| 人数 | 486 | 551 | 13  |

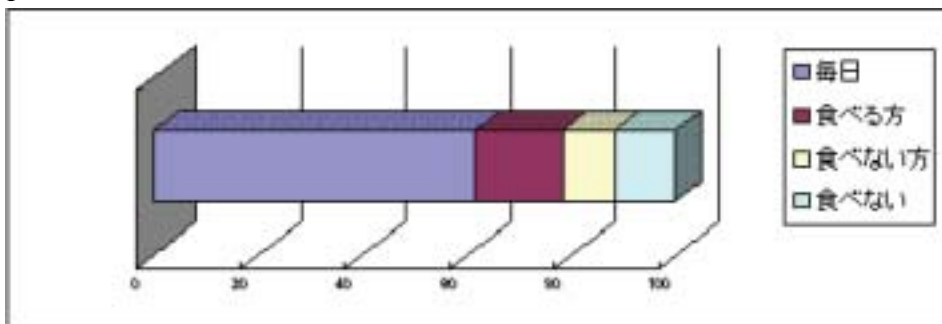
### ＜⑬朝食の摂取状況＞

あなたは朝食を食べていますか？

- ① 毎日食べる
- ② 食べる日の方が多い
- ③ 食べない日の方が多い
- ④ ほとんど食べない

|        |      |
|--------|------|
| 毎日食べる  | 61.4 |
| 食べる方多  | 16.8 |
| 食べない方多 | 10.0 |
| 食べない   | 11.6 |

(%)



### ＜⑭朝食をとらない理由＞

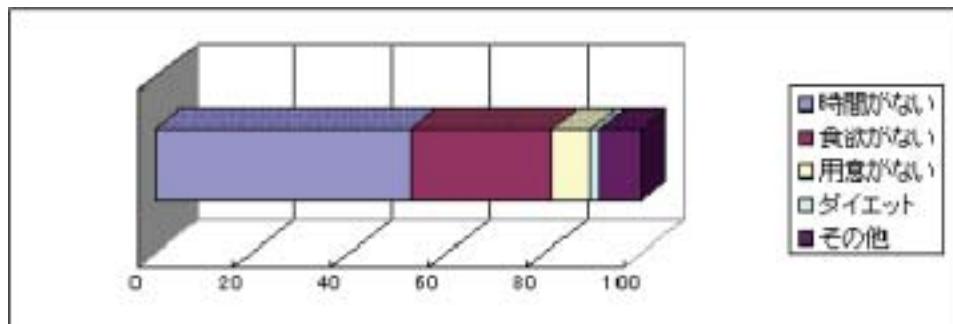
朝食を食べないことがある人はその主な理由を1つ選んでください。

(問2の回答者の中での割合)

- ① 食べる時間がない
- ② 食欲がない
- ③ 食事の用意ができていない
- ④ ダイエットのため
- ⑤ その他

|       |      |
|-------|------|
| 時間がない | 52.5 |
| 食欲がない | 28.9 |
| 用意がない | 8.1  |
| ダイエット | 1.9  |
| その他   | 8.5  |

(%)



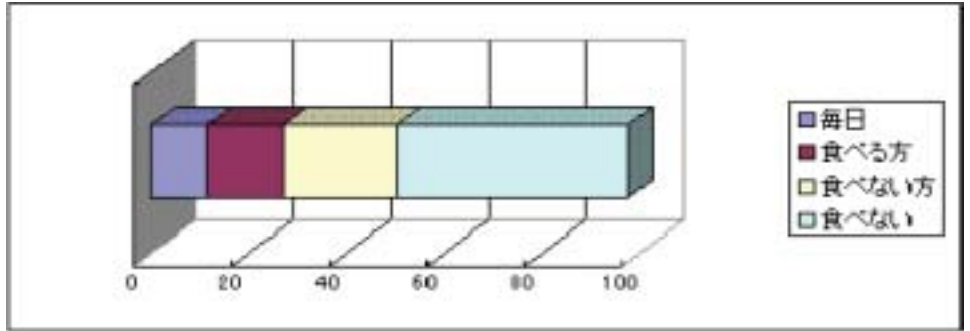
<⑮朝食のとり方>

(1) 朝食の朝食を家族と食べていますか？

- ① 家族と毎日食べる
- ② 家族と食べる日の方が多い
- ③ 家族と食べない日の方が多い
- ④ 家族と食べない

|       |      |
|-------|------|
| 毎日食べる | 11.3 |
| 食べる方多 | 15.5 |
| 食べない方 | 23.1 |
| 食べない  | 47.4 |

(%)



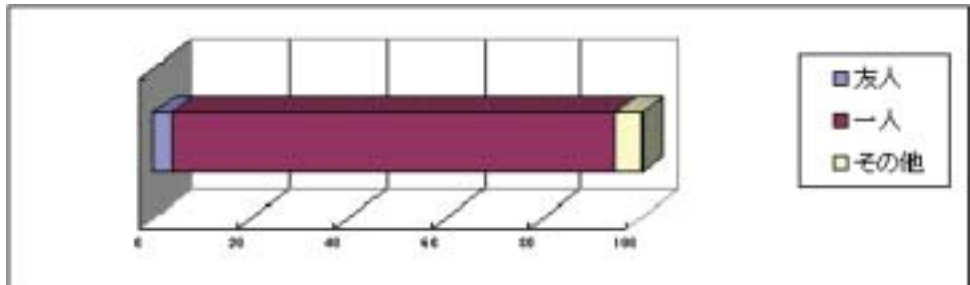
(2) 問3で④と回答した人は、誰と食べていますか？

(問4の回答者の中での割合)

- ① 友人
- ② 一人
- ③ その他

|     |      |
|-----|------|
| 友人  | 3.6  |
| 一人  | 90.8 |
| その他 | 5.5  |

(%)



<⑯最近の体調>

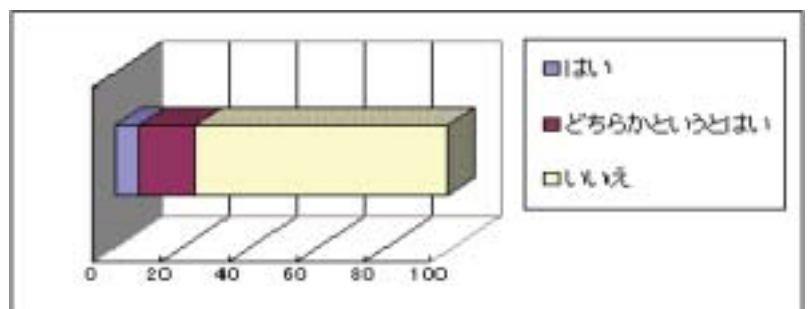
最近のあなたの体調について教えてください。

(1) 食欲がない

- ① はい
- ② どちらかというとはい
- ③ いいえ

|            |      |
|------------|------|
| はい         | 7.5  |
| どちらかというとはい | 16.4 |
| いいえ        | 74.5 |

(%)

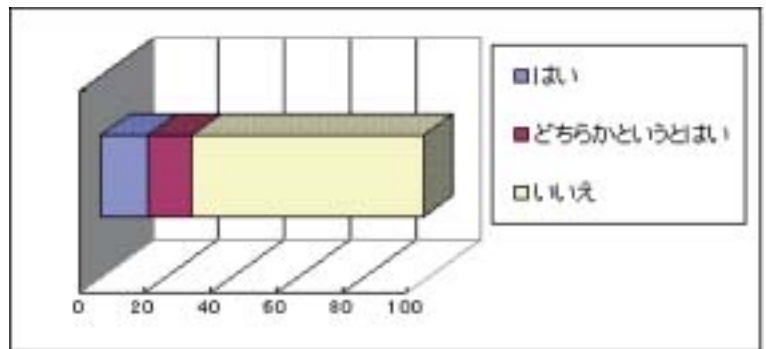


(2) 便秘しやすい

- ① はい
- ② どちらかというとはい
- ③ いいえ

|            |      |
|------------|------|
| はい         | 14.1 |
| どちらかというとはい | 13.6 |
| いいえ        | 70.4 |

(%)

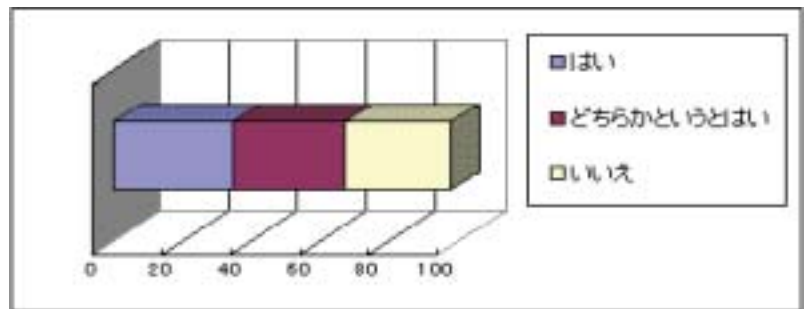


(3) からだがだるい

- ① はい
- ② どちらかというとはい
- ③ いいえ

|            |      |
|------------|------|
| はい         | 38.1 |
| どちらかというとはい | 30.1 |
| いいえ        | 29.9 |

(%)

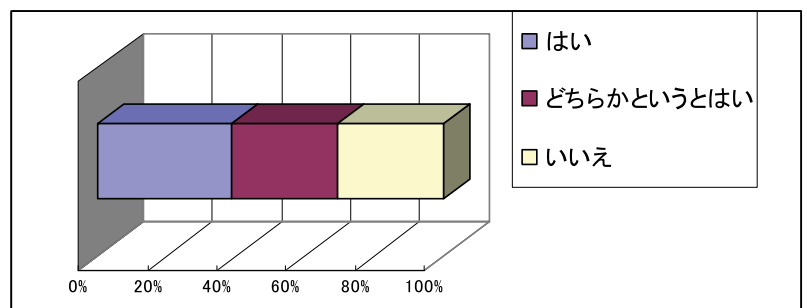


(4) 午前中ぼんやりしている

- ③ はい
- ④ どちらかというとはい
- ⑤ いいえ

|            |      |
|------------|------|
| はい         | 35.1 |
| どちらかというとはい | 32.2 |
| いいえ        | 30.9 |

(%)

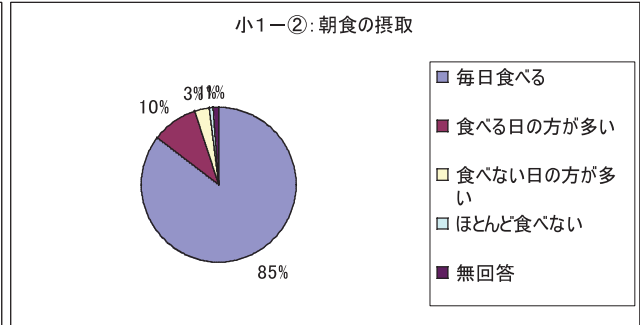
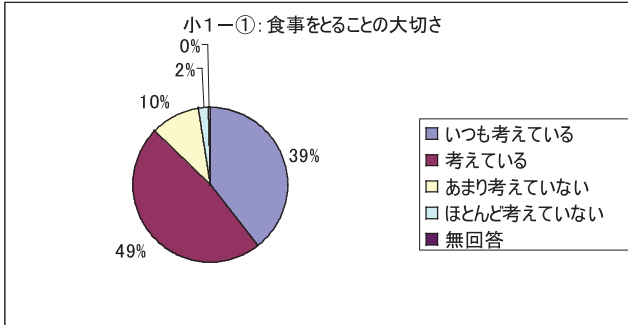


# [資料B：食教育目標に関する調査（小学生用）]

※調査対象：各区1校の小学校5年生（男子840名、女子859名、合計1699名）

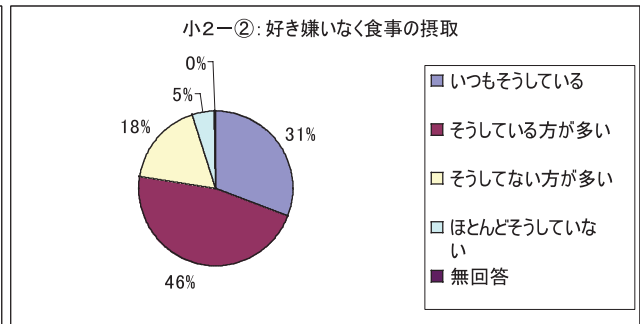
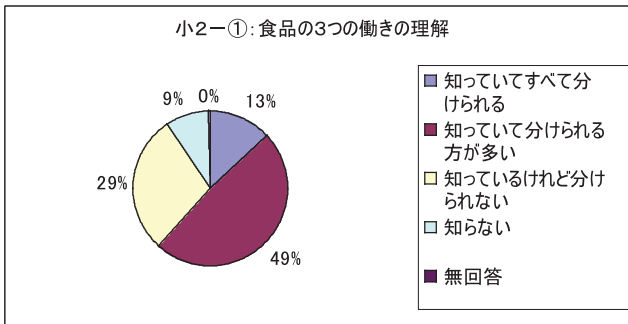
## 問1 <食事の重要性>

- (1) あなたは、食事をとることを大切だと考えていますか？
- (2) あなたは、朝食を食べていますか？



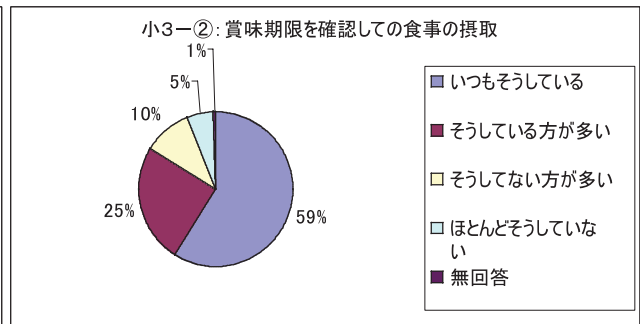
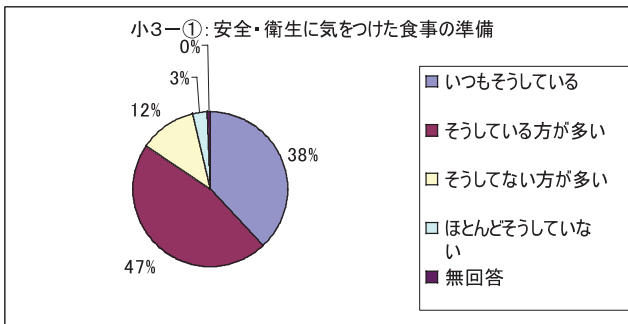
## 問2 <心身の健康>

- (1) あなたは、食品の体内での3つ働き（赤・黄・緑）を知っていて、それぞれを分けることができますか？
- (2) あなたは、栄養のバランスを考えて好き嫌いなく食事をしていますか？



## 問3 <食品を選択する能力>

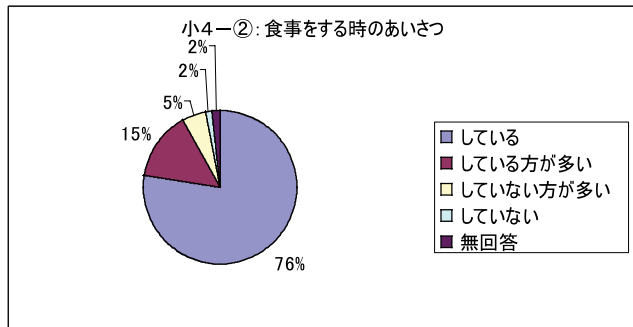
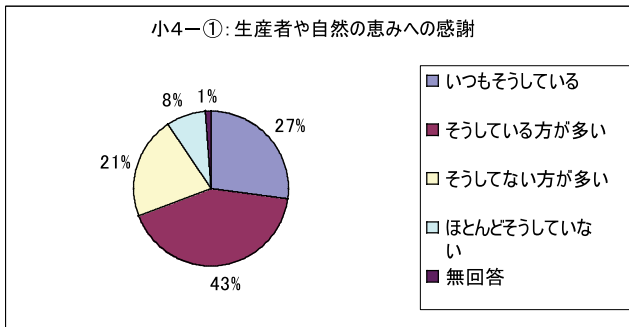
- (1) あなたは、食事の準備をする時に、安全・衛生に気をつけていますか？
- (2) あなたは、食品に書いてある賞味期限を確認しながら食べていますか？





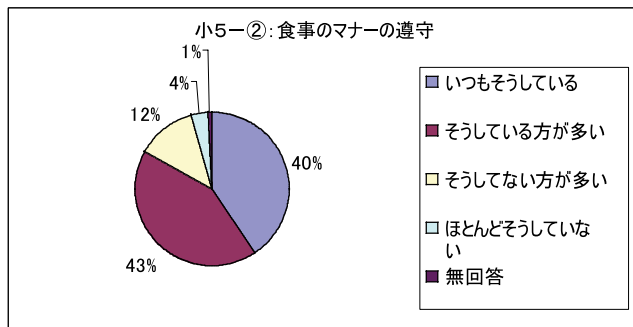
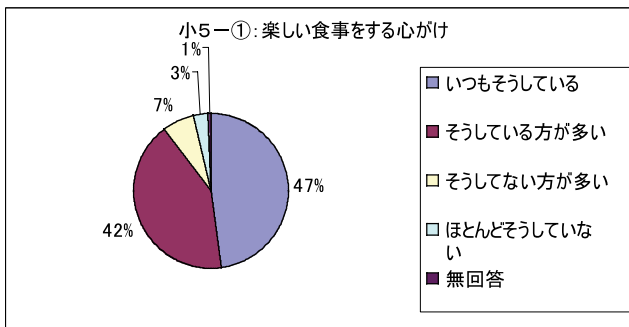
問4 <感謝の心>

- (1) あなたは、食事する時に生産者や自然の恵に感謝していますか？
- (2) あなたは、食事をする時にあいさつをしていますか？



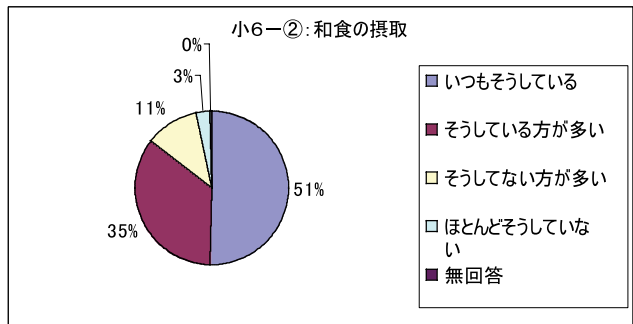
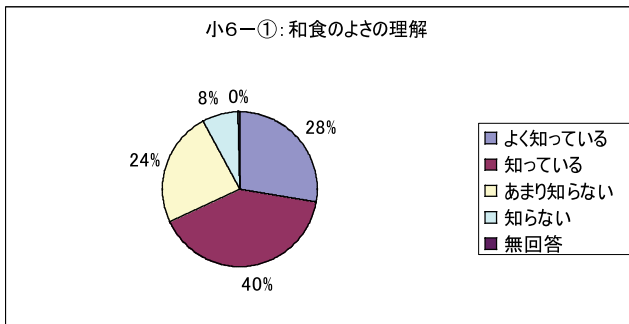
問5 <社会性>

- (1) あなたは、楽しい食事をすることを心がけていますか？
- (2) あなたは、口に食べ物を入れたまま話をしない、汚い話をしないなど食事のマナーを守って食べていますか？



問6 <食文化>

- (1) あなたは、和食の良さ（日本人にあって、脂肪が少ない、野菜が多い、ごはんが中心となる、伝統食が伝わるなど）を知っていますか？
- (2) あなたは、家庭の食事や給食で和食（ごはん・煮魚・おひたし・五目豆・ひじきの煮物など）が出されたとき、進んで食べていますか？



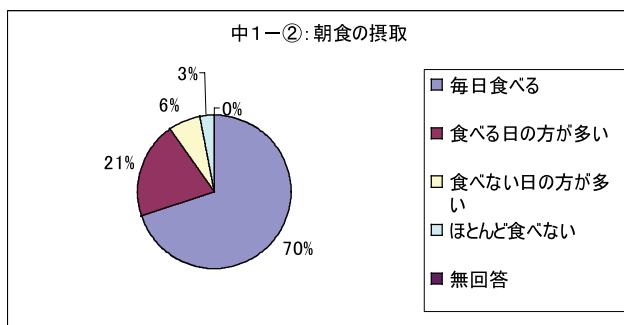
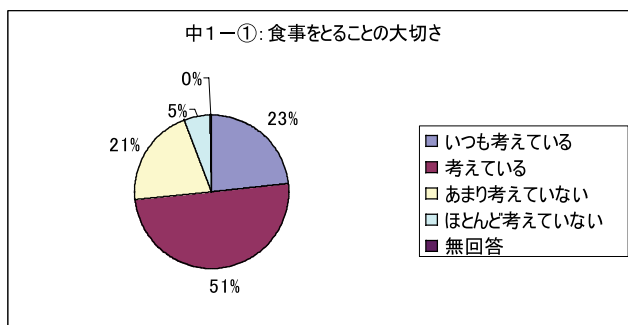
# [資料C：食教育目標に関する調査（中学生用）]

※調査対象：各区1校の中学校2年生（男子857名、女子822名、合計1679名）

## 問1 <食事の重要性>

(1) あなたは、毎日規則正しく食事をとることを大切だと考えていますか？

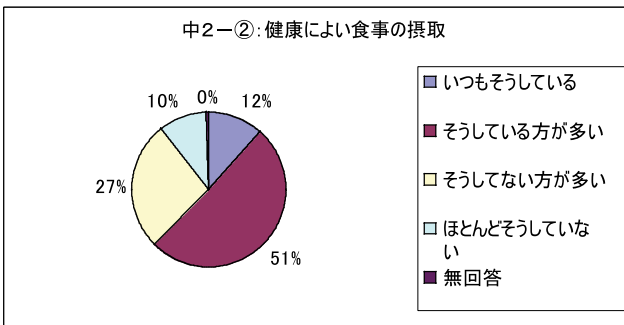
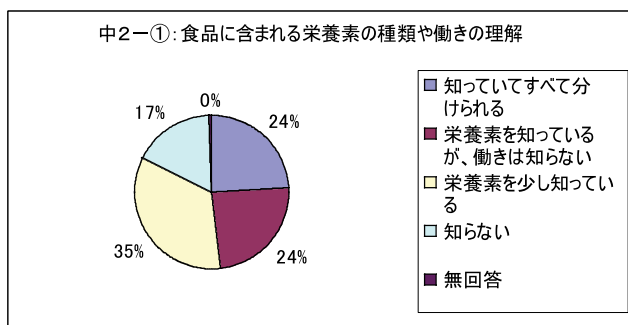
(2) あなたは、朝・昼・夕三食の食事を食べていますか？



## 問2 <心身の健康>

(1) あなたは、食品に含まれる栄養素の種類や働き等を知っていますか？

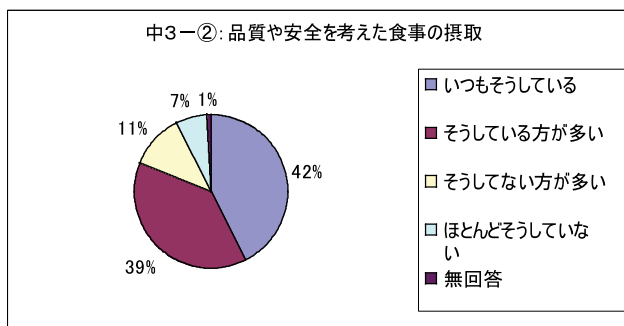
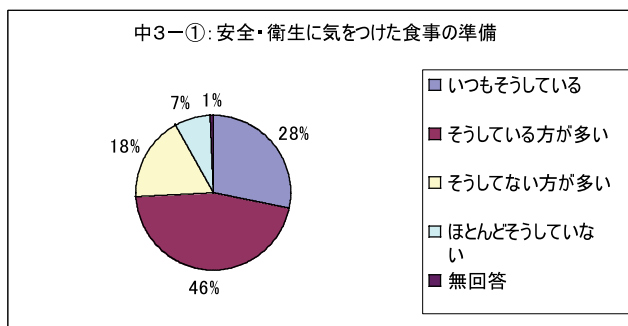
(2) あなたは、健康によい（栄養のバランスを考えて）食事をしていますか？



## 問3 <食品を選択する能力>

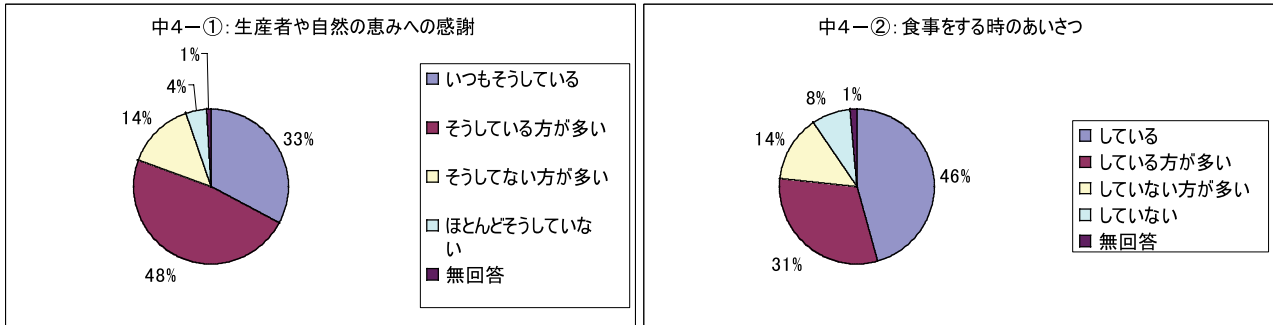
(1) あなたは、食事の準備やあとかたづけをする時に安全・衛生に気をつけていますか？

(2) あなたは、賞味期限などの食品表示やマークの意味を理解し、品質や安全性を考えて食べていますか？



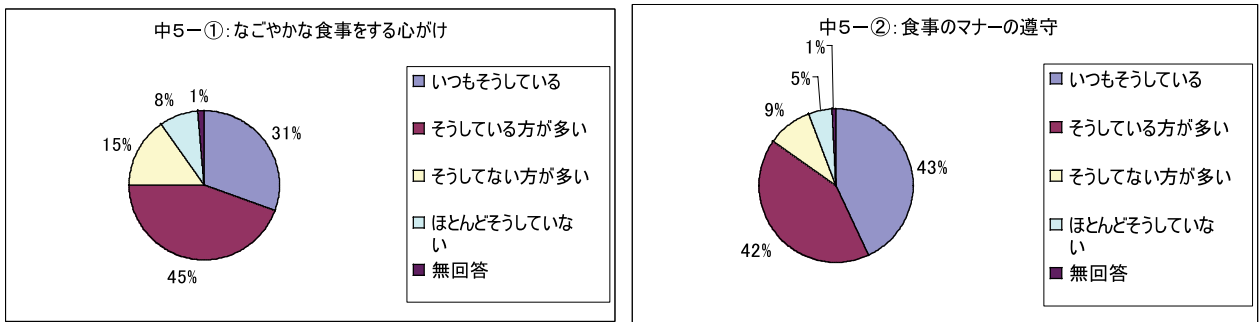
問4 <感謝の心>

- (1) あなたは、食事をするときに生産者や自然の恵みに感謝していますか？  
 (2) あなたは、食事をする時にあいさつをしていますか？



問5 <社会性>

- (1) あなたは、マナーを考え、会話を楽しみながらなごやかに食事することを心がけていますか？  
 (2) あなたは、口に食べ物を入れたまま話をしない、汚い話をしないなど食事のマナーを守って食べていますか？



問6 <食文化>

- (1) あなたは、和食の良さ（日本人にあっていて、脂肪が少ない、野菜が多い、ごはんが中心となる、伝統食が伝わるなど）を知っていますか？  
 (2) あなたは、和食（ごはん、煮魚、おひたし、酢の物、ひじきの煮物など）を喜んで食べていますか？

